

忍郷友会

O S H I
G O Y U K A I
110th
Anniversary
since 1905



忍藩から現代へ
人と発展

公益財団法人 忍郷友会 とは・・・

創 立

明治四年（一八七一年）の廃藩置県で東京を初め、全国に散った旧忍藩士の人たち八十余名が、明治三十八年（一九〇五年）十月二十二日東京向島百花園に集まり、親睦会として発会式が行われたのが本会の始まりで、同年十二月六日には藩主嗣子松平忠壽少尉の白露戦争凱旋祝賀会が盛大に開催されて本会の基礎が出来、会報第一号が刊行されました。

その後地方在住の士族の他、忍郷にゆかりの一般の人たちも加わり、交流を深め会員相互の親睦、個人の知徳の涵養を目指しながら、ふるさとの為最初は東京に遊学する忍町の学生を援助するなど、後継者の育成と郷土の文化発展にも意を尽くして年月を重ねてきました。

（一般財団法人から公益財団法人へ）

財団法人の認可

昭和十年の創立三十周年大会以後は、それまでの幹事制から会長制に替わり、林頼三郎中央大学総長を会長に、松平忠壽貴族院議員を名誉会長に選び、その後昭和十三年に文部省（現文部科学省）より「教育活動を行なう財団法人」として認可され、平成二十六年三月三十一日まで継続してまいりました。

平成二十六年四月一日には、制度改革による法改正に伴い一般財団法人からより社会的信頼・信用が高い公益財団法人への移行を申請、内閣府より厳格な審査の結果公益財団法人として認可されました。

全国的に見ても郷友会はいくつかありますが、法人格を有しているのは本会だけです。現在の会長は、（奥平）松平家十六代の松平忠昌氏です。

会 員

本会は明治、大正、昭和の大きな歴史的試練にもめげずに活動は続けられ、会員の延べ数は数千人を超えており、その方々の分野も政界、官界、軍部（戦前）、法曹界、経済界、教育界、学会、美術芸能その他多岐に亘っています。平成二十七年は創立一一〇周年、忍郷人として誇り高く生きてきた郷土を愛する人々の集まりであります。どこにいても、いつも行田のことが忘れられない人々の集まり、それが忍郷友会です。現在の会員数は二百三十余名です。

目的と事業

本会の創立者の遺志を継承し、行田地方を中心に東京、神奈川など県内外の会員と関係者の支援を仰ぎながら、会員同士の親睦、知徳の涵養と人格の向上を図りつつ、これからの地域社会や国家の繁栄隆昌に役立つリーダーや後継者の人づくりを目指し、社会教育と学校教育の支援事業を行っていきます。本会の目指す究極の人間像は「確かな知識とともに高い倫理観と品性を備えた人」であります。

（文責 渡邊 栄一）

公益財団法人

忍郷友会広報誌 第七十二号

目次

二〇一六年に向けて……………	松平 忠昌……………	2
平成27年度 定時総会報告……………	矢澤 大和……………	3
平成26年度 事業報告……………	……………	7
収支決算書・貸借対照表……………	……………	10
忍郷友会役員名簿……………	……………	11
平成27年度 会員名簿……………	……………	12
平成27年度 事業行事経過メモ……………	……………	13
第30回 浮き城のまち行田		
「少年の主張大会」……………	瀬山 文孝……………	16
忍郷友会会長賞作品①……………	竹尾 胡桃……………	16
忍郷友会会長賞作品②……………	船橋 知夏……………	17
忍郷友会会長賞作品③……………	田中 綾萌……………	18

読書推進運動について……………	大野 年司……………	19
進脩塾活動について……………	田代 敬二……………	20
忍藩子ども素読教室……………	川田 隆生……………	21
漢文検定試験について……………	奥田 七寿……………	22
一一〇周年記念行事の総括について……………	……………	24
御名刺掲載欄……………	……………	28
編集後記……………	黒渕 陽夫……………	31

二〇一六年に向けて



公益財団法人 忍郷友会

会長 松平 忠 昌

明治三十八年（一九〇五年）に発足致しました当会は、去る十一月当会の創立一一〇周年記念大会を新体制で実施し、ご一緒に記念の大会を慶賀できましたことはご同慶の至りであります。二〇〇七年三月に当会の本部事務局を行田に移転してから九年目を迎え、公益財団法人としての認可を受け、行田を中心とする忍郷友会としての活動も鈴木秀憲副会長と矢澤大和事務局長の新体制の下に次の十年を進めて参ることに成り、皆様にも確実に歩みを進めていることを実感して頂けたものと思えます。

歴史と継続は力の源泉であり、百年超の活動を継続している当会は、全国でも数少ない長寿の公益財団法人である当会は、先

輩諸氏を始めとする会員各位の揺ぎの無い郷土愛と献身的な奉仕の精神に支えられて、活動の柱を国や行田の宝である青少年の教育を支援する事に置き、「一燈照隅」の想いで人材育成に注力している所であり、「進脩塾」（素読教室、論語講座）、「少年の主張大会」及び「読書推進」の事業は引続き継続していかねければならないものと考えています。

二〇一四年七月に実施しました全国藩校サミット行田大会に続く大会は黒田官兵衛縁の地、福岡で昨年十月四―五日第十四回全国藩校サミット福岡大会として開催され、当会よりも二十名が参加して盛大に挙行されました。今年度は、四国丸亀にて

第十五回大会が開催の予定であり、継続性のある藩校教育の伝承が行われて行く事に共感を覚えます。藩校教育の柱はエリート教育とも云えるリーダーの育成や精神教育（志や愛国心の醸成）にあり、現在でも必要とされるものと考えますので、当会としても一つの事業として取り組んでいく所存です。

国内に目を転じて見ますと、政局は安倍政権が保守の灯を掲げて憲法の解釈問題や沖縄問題で停滞を余儀なくされておられ、経済政策を含めた政権運営も困難な状況が続くと見られます。教育に関しては、色々な政策でその在り方が見直されつつあり、青少年の教育・人材の育成は普遍的な命題でありますので、教育支援を当会の事業活動の柱として継続して参る所存です。

海外では、米国との連携を強化する中で、中国・韓国との関係を模索しなければならず、「テロ」、「北朝鮮問題」、等々があり、外交や経済環境は予断を許さない状況にありますので、気

を許す事なく情報に耳を傾けて最善の選択を続けたいものです。

この様な時代と環境にこそ我々は、「教育への支援」を軸に足元を見つめて、「出来ること」を着実に推進すべきでしょう。

「違いの判る人間を育成する教育への支援」を念頭に行田から将来の日本や世界を担う人材を輩出させる事を目指して事業を推進し、これからの十年を見据えながら活動して参りますので、引続き宜しくご指導・ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



平成二十七年年度 定時総会報告



事務局長 矢澤 大和

平成二十七年六月二十一日(日)開催の本会臨時理事会にて事務局長としてご承認いただきました矢澤大和です。前任の小山博氏の様な素晴らしい才覚・才能は、持ち合わせて居りません。ただ、ただ皆様のご指導、ご協力をお願いを申し上げるばかりです。よろしくお願いいたします。

本年は創立一一〇周年記念事業の企画があるため、総会に向けて二回の理事会を開催した。

平成二十七年四月二十日(月) 十五時三十分～十七時から公益財団法人忍郷友会本部事務所にて開催。

開会に先立ち、松平忠昌(理事)会長より、本日の出席者数につき理事十三名中十二名(うち委任状二名)が、定款第三十一条及び第三十四条第一項に規定する定足数を満たしているため、本理事会は有効

に成立している旨の報告があった。定款第二十六条第二項の規定に基づき、松平忠昌会長が議長となり、開会を告げ、一号から第七号議案の審議に入った。

審議に先立ち、議長より定款第二十三条の規定に基づき議事録署名人として渡邊栄一氏、矢澤大和の二名を指名し両氏は議事録署名人を受諾した。

○第一号議案 平成二十六年財団法人忍郷友会事業報告書(案)について

清水威男事務局長より、「平成二十六年財団法人忍郷友会事業報告書(案)」に基づき説明、且つ、各事業について担当役員より説明が行われ、審議された。

・「進脩塾」収支決算書(案)について、清水威男事務局長より報告された。

・「浮城のまち行田少年の主張大会」決算書(案)について
清水威男事務局長より報告された。

・「読書推進実行委員会」収支決算書(案)について

大野年司理事より報告された。その後、議長より決算の承認について諮ったところ、全員をもって承認可決された。

○第二号議案 平成二十六年収支決算書(案)について

清水威男事務局長より、「平成二十六年収支決算書(案)」(配布済み)について説明が行われた。

続いて、会計監査について監事を代表し、岩崎安裕監事より監査報告があったが、「現金手許有高」の修正があるので、正式の監査報告書は総会当日に配布するよう指示した旨が報告された。

議長より本議案の承認について諮ったところ、全員をもって承認可決された。

○第三号議案 理事、評議員、執行部役員の退任に伴う選任の承認を

求める件について
(1)理事退任に伴う理事選任の承認を
求める件

(2)評議員退任に伴う評議員選任の承認を
求める件

(3)執行部役員退任に伴う執行部役

員選任の承認を求める件

以上三項目につき清水威男事務局長より、理事は田代敬二理事が退任し、新たに新井啓介評議員を理事に選任する事、評議員は木暮照子評議員が退任し、新たに奥田七寿正会員を評議員に選任する事、及び執行部役員は渡邊栄一副会長(理事)と小山 博事務局長(理事)が退任し、新たに鈴木秀憲理事を副会長に、矢澤大和理事を事務局長に選任する案が提案・報告された。議長より、本議案の承認について諮ったところ、当事者を除く全員をもって承認可決された。

○第四号議案 一一〇周年事業に賛同を求める件について

記念誌委員会、祝賀委員会、記念事業委員会設置承認を求める件につき

清水威男事務局長より、一一〇周年事業の原案が説明された。議長より、本議案の承認について諮ったところ、全員をもって各委員会を設置する事で承認可決された。

なお、松平忠昌会長より、講演会の開催日を平成二十七年十一月七日(土)とし、講師を上杉家第十七代目の当主上杉邦憲氏にお願いし、内諾を得ている旨の報告があった。

○第五号議案 定時総会・講演会・懇

親会ご案内(案)について

清水威男事務局員より、内容(配布済み)について報告された。議長より、本議案の承認について諮ったところ、全員をもって承認可決された。

○第六号議案 役員会・総会・講演会・懇親会、タイムテーブル(案)について

清水威男事務局員より、総会、講演会、懇親会の各時間割及び司会者など(配布済み)の説明があった。議長より、本議案の承認について諮ったところ、全員をもって事務局に一任する事で承認された。

○第七号議案 総会・講演会・懇親会ご招待者リスト(案)について

清水威男事務局員より、招待者リストに基づき招待者の説明があった。

議長より、本議案の承認について諮ったところ、全員をもって承認可決された。

○第八号議案 その他

(1)事務職員の給与改定に同意を求める件

(2)三端懇話会を復活させる件

(3)伝統文化事業委員会を創設し、その中に茶道部を設置する件

議長より、本議案第(1)項より第(3)項を報告事項とする事につ



いて諮ったところ、全員をもって承認可決された。

(閉会)

以上をもって、本日の第一号議案から第八号議案までの審議並びに報告事項が終了したため、議長は閉会を宣した。

平成二十七年六月二十一日(日)午後三時四十五分よりベルヴィアイトピアに於いて理事・監事会、評議員会、臨時理事会、総会、記念講演会および懇親会が開催した。

理事会

十三時四十五分〜十四時十五分ベルヴィアイトピア・カトリアにて開催

開会に先立ち、松平忠昌(理事)会長より、本日の出席者数につき理事十三名中十二名が出席しており、定款第三十一条及び第三十四条第一項に規定する定足数を満たしているため、本理事会は有効に成立している旨の報告があった。

定款第二十六条第二項の規定に基づき、松平忠昌会長が議長となり、開会を告げ、第一号及び第二号議案の審議に入った。

審議に先立ち、議長より定款第二十三条の規定に基づき議事録署名人として鈴木秀憲氏、大野年司氏の二名を指名し両氏は議事録署名人を受諾した。

○第一号議案 平成二十六年度収支決算書(案)の監査報告について
小山博事務局長(理事)より、「平成二十六年度収支決算書(案)」(配布済み)の監査は、既に平成二十七年四月二十日(月)に

本部事務所で、監事保泉欣嗣氏、同岩崎安裕氏、同加藤力也氏により会計及び業務の監査を受けておりますが、「現金手許有高」の修

正があることから、正式の監査報告書は総会当日に配布する旨、指示されておりました。これにより、監事を代表して岩崎安裕氏から「現金手許有高」の修正確認ができた旨の報告があり、正式な監査報告書を作成したとの報告がありました。

その後、議長より決算の承認について諮ったところ、全員をもって承認可決された。

○第二号議案 その他について

・ 一〇周年事業の講演会開催場所の選定について

講演会は、十一月七日(土)に上杉家第十七代目の当主上杉邦憲氏を講師にお迎えすることに内諾を得ているが、講演場所の選定がされていないので、候補地を挙げて協議した結果、議長より会場の選定について諮ったところ、全員をもって行田市教育文化センター「みらい」とすることに可決された。なお、式典会場については、ベルヴィアイトピアとすることに全員をもって可決された。

(閉会)

以上をもって、本日の第一号議案及び第二号議案までの審議並びに報告事項が終了したため、議長は閉会

を宣した。

評議員会

理事会に続き十四時二十分～十五時十分 ベルヴィアイトピア・カトレアで評議員会を開催した。

出席評議員 青柳憲助、新井啓介、新井 誠、井上啓子、五十幡和彦、永島健雄 江利川毅、遠藤初枝、大谷純一、大久保毅、大澤誠、大西義道 川辺秀夫、倉持成一郎、小池俊輔、小菅克祥、小林晴夫、瀬山文孝中島捷二、橋本恭一、長谷川雅敏、東瑞芳、福島伸悦、細井保雄 松岡由浩、諸貫健一、横川福治、渡邊久記、小川智右、八木原保(三十名)

出席監事 岩崎安裕、加藤力也(二名)

開会に先立ち、小山博事務局長(理事)より、本日の出席者数につき評議員数三十二名中三十名が出席しており、定款第二十二条第一項に規定する定足数を満たしているため、本評議員会は有効に成立している旨の報告があった。

松平忠昌会長が仮議長となり開会を告げ、議長の選出について諮ったところ、福島伸悦評議員を議長に選出する旨の議決があり、福島伸悦氏を議長として議案の審議に入った。審議に先立ち、議長より議事録署名人として遠藤初枝氏、五十幡和彦氏

の2名を指名し、両氏は議事録署名人を受諾した。

(議事の経過及び結果)

○第一号議案 平成二十六年年度財団法人忍郷友会事業報告書(案)について

小山博事務局長(理事)より、「平成二十六年年度財団法人忍郷友会事業報告書(案)」(配布済み)に基づき説明が行われ、審議された。

・「進脩塾」収支決算書(案)について

・「浮城のまち行田少年の主張大会」決算書(案)について
・「読書推進実行委員会」収支決算書(案)について

その後、議長より決算の承認について諮ったところ、全員をもって承認可決された。

○第二号議案 平成二十六年年度収支決算書(案)について

小山博事務局長(理事)より、「平成二十六年度収支決算書(案)」(配布済み)について説明が行われた。

続いて、会計監査について監事を代表し、岩崎安裕監事より監査報告があったが、「現金手許有高」の修正があるので、正式の監査報告書は総会当日に配布するよ

う指示した旨が報告された。

議長より本議案の承認について諮ったところ、全員をもって承認可決された。

○第三号議案 理事、評議員、執行部役員の退任に伴う選任の承認を求める件について

(1)理事退任に伴う理事選任の承認を求める件

(2)評議員退任に伴う評議員選任の承認を求める件

(3)執行部役員退任に伴う執行部役員選任の承認を求める件

以上三項目につき松平忠昌会長より、理事は田代敬二理事が退任し、新たに新井啓介評議員を理事に選任する事、他の理事は重任する。評議員は木暮照子評議員が退任し、新たに奥田七寿正会員を評議員に選任する事、及び執行部役員は渡邊栄一副会長(理事)と小山博事務局長(理事)が退任し、新たに鈴木秀憲理事を副会長に、矢澤大和理事を事務局長に選任する案が提案・報告された。議長より、本議案の承認について諮ったところ、全員をもって承認可決された。

○第四号議案 一一〇周年事業に賛同を求める件について

記念誌委員会、祝賀委員会、記念事業委員会設置承認を求める件

につき

松平忠昌会長より、一一〇周年事業の原案が説明された。議長より、本議案の承認について諮ったところ、全員をもって各委員会を設置する事で承認可決された。なお、松平忠昌会長より、講演会の開催日を平成二十七年十一月七日(土)とし、講師を上杉家第十七代目の当主上杉邦憲氏にお願いし、内諾を得ている旨の報告があった。講演会場については、行田市教育文化センター「みらい」とし、懇親会は、ベルヴィアイトピアとする旨の提案があった。

○第五号議案 その他
松平会長より、渡邊栄一副会長(理事)と小山博事務局長(理事)が退任するが、理事として引き続き就任していただくことで了承を得ていると報告があった。

以上をもって、本日の第一号議案から第五号議案までの審議並びに報告事項が終了したため、議長は閉会を宣した。

臨時理事会

十五時三十分～十五時五十分 ベルヴィアイトピア・カトレア

出席理事 碓井勝也、大野年司、小川雅以、黒淵陽夫、小山博、清

水龍男、鈴木秀憲、中川邦明、松平忠昌、矢澤大和、山本憲作、渡邊栄一

開会に先立ち、松平忠昌（理事）氏が仮議長となり、仮議長より、本日の出席者数につき理事十三名中十二名が出席しており、定款第三十一条及び第三十四条第一項に規定する定足数を満たしているため、本理事会は有効に成立している旨の報告があった。

定款第二十六条第二項の規定に基づき、松平忠昌氏が仮議長となり、開会を告げ、第一号及び第二号議案の審議に入った。

審議に先立ち、仮議長より定款第二十三条の規定に基づき議事録署名人として鈴木秀憲氏、大野年司氏の二名を指名し両氏は議事録署名人を受諾した。

○第一号議案 代表理事の選任について

定款第二十五条第二項に基づき理事の互選により会長の選任を行い、松平忠昌理事を会長とすることが決議された。

○第二号議案 その他について

田代敬二氏は理事退任後、進脩塾の主幹として引き続きご尽力さ

れることから、特別会員として遇することで全員をもって承認可決された。

以上をもって、本日の第一号議案及び第二号議案までの審議並びに報告事項が終了したため、議長は閉会を宣した。

定時総会

会場・ガレリア

三時三十分の定刻より、若干遅れての開会となり、小林晴夫評議員の司会で、開会の前に物故会員への黙祷からスタートした。

冒頭松平忠昌会長の挨拶は、公益性の事、一一〇周年の重さを強調。

十一月の「創立一一〇周年記念」の諸行事への協力の依頼を訴えた。

会議では定款の定めにより会長が議長に就き、総会を開会。小山博事務局長が資料に基づき前記述の理事会、評議員会の審議内容、承認事項などの会務報告があった。続いて各事業委員長より資料に基づき詳細な説明がなされ、滞りなく議事を終了した。

次に小山事務局長より本年度入会の各氏の紹介なされた。

この後、来賓として岸田行田市長代理、他二名の方よりご祝辞をいただき、無事、閉会となった。

記念講演会

会場・ガレリア

予定より少し遅れて、洪澤栄一氏のお孫さんに当たります鮫島純子様より「すべてに感謝で毎日がしあわせ」と言う演題で、のとてもほのほとした講演をいただいた。ご高齢にもかかわらず立ったまま講演をされた姿を拝見し、エネルギーを頂いた方もたくさんおられたようだ。

懇親会

会場・パール

総会からの時間遅れの連鎖で、少し遅れての開会。

六十名の参加をいただき、いつもの様に楽しく懇親を深めた。

今回の総会に向けての会議は、理事の任期満了による改選、評議員の一部変更、創立一一〇周年の議事と、大分多くなってしまいました。これも公益財団法人忍郷友会が着々と発展している証しとお考えいただければ、幸いです。

社会福祉施設
教育・文化施設
オフィス・工場
店舗・商業施設
耐震補強
建物リニューアル

技術と環境の未来を見つめて
小川工業株式会社
埼玉県行田市桜町1-5-16 TEL.048-554-4111

平成二十六年 事業報告

1 会議

(1) 総会

① 定時総会開催

(会務報告、講演会、懇親会)

日時 平成二十六年六月十五日(日)

参加者 八十五名

午後三時三十分～午後八時

会場 行田市・ベルヴィアイトピア
来賓

行田市長

工藤 正司 様

行田市市議会議長

香川 宏行 様

衆議院議員

野中 厚 様

埼玉県議会議員

鈴木 聖二 様

行田市教育委員会委員長

岸田 昌久 様

行田市教育委員会教育長代理

猪野塚敏和 様

行田商工会議所会頭

小川 雅以 様

行田商工会議所名誉会頭

鈴木 秀憲 様

行田商工会議所副会頭

細井 保雄 様

行田商工会議所副会頭

大久保 毅 様

行田ロータリークラブ副会長

山本 憲作 様

(公社) 行田青年会議所理事長

大野 哲也 様

旧忍藩主阿部家二十二代ご当主

阿部 正靖 様

(株)埼玉新聞社代表取締役

小川 秀樹 様

大正大学教授(講師)

塚田 良道 様

松平忠昌議長より平成二十五年度の事業および決算、監査について報告があった

記念講演 「江戸から明治に活躍した藩校の人々」

講師 塚田 良道 様

懇親会 (大正大学教授)

② 定時総会

(会務報告・賀正会)

日時 平成二十七年一月二十四日(土)

参加者 四十三名

午後三時十分～午後七時

会場 霞会館(霞が関ビル二十四階)

来賓

行田市副市長(市長代理)

土橋 義男 様

行田市教育委員会委員長

岸田 昌久 様

行田商工会議所会頭

小川 雅以 様

行田商工会議所名誉会頭

鈴木 秀憲 様

行田商工会議所副会頭

細井 保雄 様

行田商工会議所副会頭

大久保 毅 様

(公社) 行田青年会議所理事長代理

原口 方宏 様

埼玉新聞社社長

小川 秀樹 様

旧忍藩主阿部家二十二代ご当主

阿部 正靖 様

寄附金寄贈者

小池ミチ子 様

叙勲(瑞宝双光章)受章者

津田 馨 様

龍淵山祥雲寺住職(講師)

大西 義道 様

松平会長より平成二十七年年度の事業計画及び予算について報告があった

卓話 「我が家の歴史と太田道灌公」

龍淵山祥雲寺住職

大西 義道 様

少年の主張

優秀作品の発表と紹介

大西 義道 様

(2) 役員会

① 理事・監事会

日時 平成二十六年四月二十三日(水)

午後三時～四時三十分

会場 商工センター四〇二会議室

審議事項

1 平成二十五年度事業報告書の承認を求める件について

2 平成二十五年度収支決算書の承認を求める件について

3 公益法人申請の報告について

4 藩校サミットの進捗状況報告について

以上慎重に審議され、承認された

② 評議員会

日時 平成二十六年四月二十三日(水)

午後四時三十分～五時三十分

会場 商工センター四〇二会議室

審議事項

1 平成二十五年度事業報告書の承認を求める件について

2 平成二十五年度収支決算書の承認を求める件について

3 公益法人申請の報告について

4 藩校サミットの進捗状況報告について

以上慎重に審議され、承認された

③ 理事・監事会

日時 平成二十六年十月三十日(木)

午後二時三十分～三時三十分

会場 ベルヴィアイトピア

審議事項

1 平成二十五年度事業報告書の承認を求める件について

2 平成二十五年度収支決算書の承認を求める件について

3 公益法人申請の報告について

4 藩校サミットの進捗状況報告について

以上慎重に審議され、承認された

④ 理事・監事会

日時 平成二十六年十月三十日(木)

午後二時三十分～三時三十分

会場 ベルヴィアイトピア

審議事項

- 1 平成二十七年事業計画(案)について
 - 2 平成二十六年度収支予算(案)について
 - イ「進脩塾」事業計画・予算(案)について
 - ロ「浮城のまち行田少年の主張大会」事業計画・予算(案)について
 - ハ「読書推進実行委員会」事業計画・予算(案)について
 - 3 平成二十七年一月の定時総会・賀正会について
 - 4 平成二十七年六月定時総会の日程について
 - 5 平成二十七年六月二十一日(日)に開催予定
 - 6 忍郷友会一〇周年(二十七年)について
 - 6 報告事項
- 以上慎重に審議され、承認された
- ④ 評議員会
- 日時 平成二十六年十月三十日(木) 午後三時四十五分～四時四十五分
- 会場 ベルヴィアイトピア
- 審議事項
- 1 平成二十七年事業計画(案)について
 - 2 平成二十六年度収支予算(案)について

2 教育奨励事業

- ① 進脩塾活動
- ① 公開講座
- 「論語・漢詩小学生公開素読教室」
素読の楽しみを体感しよう」
- 日時 平成二十六年五月十八日(日) 午後九時三十分～十一時三十分
- 会場 行田市産業文化会館
- 出演者 行田市立埼玉小学校二年生～六年生
忍藩子ども塾々生
一六〇名
- イ「進脩塾」事業計画・予算(案)について
 - ロ「浮城のまち行田少年の主張大会」事業計画・予算(案)について
 - ハ「読書推進実行委員会」事業計画・予算(案)について
 - 3 平成二十七年一月の定時総会・賀正会について
 - 4 平成二十七年六月定時総会の日程について
 - 5 平成二十七年六月二十一日(日)に開催予定
 - 6 忍郷友会一〇周年(二十七年)について
 - 6 報告事項
- 以上慎重に審議され、承認された

受講者 一〇〇名

② 定例講座

- 四月 「孟子」 荒井 桂先生
 - 五月 「孟子」 荒井 桂先生
 - 八月 「孟子」 荒井 桂先生
 - 九月 「孟子」 荒井 桂先生
 - 十月 「孟子」 荒井 桂先生
 - 二月 「孟子」 荒井 桂先生
 - 三月 「孟子」 荒井 桂先生
- ※行田ケーブルテレビにて放映
(内容)進脩塾の目的、講義、受講者の感想、今日の論語から

③ 忍藩子ども塾素読教室の開催

- 日時 毎月第一、第二、第三土曜日 午前九時～十二時
- 場所 行田市郷土博物館講座室
- 受講者 行田市内在住の小学生 五十名
- 講師 田代敬二、奥田七寿、川田隆生
- 内容 論語・漢詩の素読学習

④ 東京支部素読教室開催

- 日時 毎月二回土曜日 午後二時三十分～三時三十分
- 場所 天眼寺(東京上野)
- 受講者 天眼寺関係者 十名
- 講師 田代敬二、川田隆生
- 内容 論語・漢詩の素読学習

⑤ 漢文検定試験の実施

- 漢文検定試験の実施

日時 平成二十五年十一月二十三日(祝)

午前九時三十分～十二時三十分

場所 行田市郷土博物館講座室

受験者 三十二名(寺子屋の部初級、中級、上級)

⑥ 出前出張授業

- 対象 行田市立埼玉小学校全学年
- 日時 毎週水曜日 午後八時十分～八時三十分
- 講師 田代敬二、奥田七寿
- 内容 論語・漢詩の学習

(2) 「第二十九回・浮城のまち行田少年の主張大会」優秀者表彰

- 日時 平成二十六年十一月二十二日(土) 午後一時十五分～四時三十分
- 会場 行田市教育文化センター「みらい」ホール
- 発表者 市内小・中学校児童・生徒、父兄等二百五十名参加
- 松平忠昌会長より二十九名に記念品を贈呈した。

(3) 第十一回読書推進学習会

- 読み聞かせ
- ポランティアスキルアップ講座
- 「本の魅力を伝える読み聞かせとは」
- 日時 平成二十六年四月十九日(土) 午後二時～四時

場所 行田市男女共同参画センター
タVIVAぎょうだ学習室

講師 代田知子先生（日本子どもの本研究会理事）

受講者 もの本研究会理事）
六十六名

(4) 第十二回読書推進学習会

読み聞かせボランティアスキルアップ講座

「うれしい絵本読み聞かせ」

日時 平成二十七年三月七日（土）
午後一時三十分～三時三十分

場所 行田市男女共同参画センター
タVIVAぎょうだ学習室

講師 聞かせ屋けいたろう

受講者 九十三名
（坂口 慶）

(5) 藩校サミット事業

第十二回全校藩校サミット行田大会が、平成二十六年七月五日～六日の二日間開催された。（別途、小冊子のとおり）

3 会報71号の発行

会報七十一号を平成二十六年十二月一日に発行

全会員、市内各小、中、高校、幼稚園、保育園及び素読教室関係者に配付

4 慶 弔

① 叙勲・褒章受章

津田 馨 様

平成26年11月3日

瑞宝双光章を受章

② お悔やみ申し上げます

飯塚 正夫 様

（平成二十六年六月九日ご逝去）

棚沢 孝一 様

（平成二十六年七月二十一日ご逝去）

最上正太郎 様

（平成二十六年十一月二十四日ご逝去）

藤間 圭一 様

（平成二十六年十二月十日ご逝去）

5 会員増強対策

新入会者紹介（敬称略 入会順）

紹介者（田代 克太郎）

・長谷川昌夫 様

・行田市持田二一五―五

・元浦和県土整備事務所長

・鈴木 茂 様

・行田市栄町二十一八

（有）鈴木建設 代表取締役

紹介者（小山 博）

・奥平 幸平 様

・千葉県松戸市常盤平五―十四

・一二十四

・中津屋不動産係長

・藤田 敬 様

・越谷市東柳田町三一十三

（株）企画 代表取締役会長

紹介者（小林 晴夫）

・興 淳明 様

・白岡市白岡九六一

・興善寺幼稚園・保育園理事長

・市議会議員

・土屋猷一郎 様

・久喜市松永二八六一―三

・郷土史研究家

紹介者（八木原 保）

・八木橋宏貴 様

・熊谷市仲町七十四

（株）八木橋 代表取締役

紹介者（遠藤 初枝）

・野口 浩一 様

・行田市宮本八一―十一

・埼玉鉄筋コンクリート（株）代表

取締役

紹介者（栗原 毬子）

・小荷田邦子 様

・鴻巣市吹上本町三一―二二

・今井薬局代表

紹介者（田代 敬二）

・中山 孝文 様

・行田市向町一一―三十三

・前（財）電気磁気材料研究所

紹介者（小暮 照子）

・阿部 哲也 様

・鴻巣市吹上富士見四―十二―二三

・阿部塾経営

紹介者（永島 健雄）

・中村 博行 様

・行田市旭町十三―二十六

・元市議会議員

紹介者（清水 龍男）

・小倉佐江子 様

・行田市藤原町三一―十四―十一

・進脩塾指導員

合計 十三名

6 総会員数

二二三名

（平成二十七年三月三十一日現在）

プライミクス株式会社

社長 古市 尚
会長 古市 實

http://www.primix.jp



本社 〒553-0001 大阪府福島区海老江八丁目十六番四十三号
電話 (06) 64581753
FAX (06) 64581750
埼玉支社 〒350-0833 川越市芳野台二丁目八、四〇
東京支社 〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目十六、四
名古屋支社 〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目九番十六号
大阪支社 〒559-0009 大阪府福島区福島五丁目六番十六号

法人名：公益財団法人 忍郷友会 事業名：事業全体 自平成26年4月1日 至平成27年3月31日 決算

収支計算書

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
① 基本財産運用収入			
基本財産配当金収入	100,000	112,540	12,540
② 会費収入			
正会員会費収入	1,950,000	2,344,000	394,000
③ 事業収入			
総会事業収入	1,100,000	908,000	△192,000
進脩塾事業収入	840,000	908,140	68,140
藩校サミット事業収入	0	2,415,000	2,415,000
④ 寄付金収入	1,500,000	1,000,000	△500,000
⑤ 雑収入	300,000	615,356	315,356
⑥ 他会計からの繰入金収入			
積立基金取崩収入	0	0	0
事業活動収入計	5,790,000	8,303,036	2,513,036
2. 事業活動支出			
① 事業費支出	4,270,000	5,733,041	1,463,041
進脩塾事業支出	970,000	1,035,181	65,181
少年の主張大会支援事業支出	250,000	261,329	11,329
読書推進支援事業支出	50,000	157,711	107,711
藩校サミット事業支出	1,500,000	2,948,188	1,448,188
広報発行事業支出	250,000	265,900	15,900
その他事業支出	0	0	0
総会事業支出	1,250,000	1,064,732	△185,268
その他の収益事業支出	0	0	0
② 管理費支出	2,120,000	2,587,824	467,824
事務職員給料支出	840,000	1,040,000	200,000
事務所賃借料支出	360,000	360,000	0
会議費支出	150,000	317,847	167,847
旅費交通費支出	20,000	69,987	49,987
通信運搬費支出	300,000	300,647	647
消耗品費支出	100,000	193,365	93,365
租税公課支出	0	0	0
慶弔費支出	50,000	24,580	△25,420
雑支出	300,000	281,398	△18,602
その他の管理費支出	0	0	0
事業活動支出計	6,390,000	8,320,865	1,930,865
事業活動収支差額	△600,000	△17,829	582,171
II 投資活動収支の部	0	0	0
III 財務活動収支の部	0	0	0
IV 予備費支出	50,000	0	△50,000
当期収支差額	△650,000	△17,829	632,171
前期繰越収支差額	3,440,000	4,688,901	1,248,901
次期繰越収支差額	2,790,000	4,671,072	1,881,072

(注) 予備費 使用せず

財産目録

(単位：円)

科目	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	
現金手許有高	117,439
普通預金	1,967,768
埼玉りそな銀行 行田支店	4187540
埼玉りそな銀行 行田支店	4085314
埼玉りそな銀行 行田支店	4190296
郵便貯金	0
(00120-2-48444)	0
流動資産合計	4,671,072
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
投資有価証券	9,412,539
基本財産合計	9,412,539
(2) 特定資産	0
(3) その他固定資産	0
固定資産合計	9,412,539
資産合計	14,083,611
II 負債の部	
負債合計	0
正味財産	14,083,611

有価証券の内訳

内訳： 東京電力株式 1,983株 (内登録株 19株)
東京瓦斯株式 11,254株

支出の部の内訳書

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異
事業費			
(進脩塾)	970,000	1,035,181	65,181
(少年の主張支援)	250,000	261,329	11,329
(読書推進支援)	50,000	157,711	107,711
(藩校サミット支援)	1,500,000	2,948,188	1,448,188
(広報発行)	250,000	265,900	15,900
(総会費用)	1,250,000	1,064,732	△185,268
小計	4,270,000	5,733,041	1,463,041
一般管理費			
(事務職員給与)	840,000	1,040,000	200,000
(事務所賃借費)	360,000	360,000	0
(会議費)	150,000	317,847	167,847
(交通費)	20,000	69,987	49,987
(通信運搬費)	300,000	300,647	647
(消耗品費)	100,000	193,365	93,365
(租税公課)	0	0	0
(慶弔費)	50,000	24,580	△25,420
(雑費)	300,000	281,398	△18,602
小計	2,120,000	2,587,824	467,824
積立基金取崩支出	0	0	0
予備費	50,000	0	△50,000
合計	6,440,000	8,320,865	1,880,865

貸借対照表

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	117,439	51,257	66,182
普通預金	4,553,633	4,337,644	215,989
郵便貯金	0	0	0
前払金	0	300,000	△300,000
流動資産合計	4,671,072	4,688,901	△17,829
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	9,412,539	6,722,024	2,690,515
(2)特定資産	0	0	0
(3)その他固定資産	0	0	0
固定資産合計	9,412,539	6,722,024	2,690,515
資産合計	14,083,611	11,410,925	2,672,686
II 負債の部			
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	14,083,611	11,410,925	2,672,686
(うち基本財産への充当額)	(9,412,539)	(6,722,024)	(431,803)
正味財産合計	14,083,611	11,410,925	2,672,686
負債及び正味財産合計	14,083,611	11,410,925	2,672,686

名誉理事	江草 忠敬	特別会員	阿部 正靖
名誉理事	清水 義夫	特別会員	田代 敬二
名誉理事	古市 實	評議員	青柳 憲助
名誉理事	宮川 公男	評議員	新井 誠
理事	松平 忠昌	評議員	飯塚 利男
副会長	鈴木 秀憲	評議員	井上 啓子
事務局長	矢澤 大和	評議員	五十幡和彦
理事	渡辺 栄一	評議員	永島 健雄
理事	碓井 勝也	評議員	江利川 毅
理事	大野 年司	評議員	遠藤 初枝
理事	小川 雅以	評議員	大久保 毅
理事	黒淵 陽夫	評議員	大谷 純一
理事	小山 龍男	評議員	大澤 誠
理事	清水 邦明	評議員	細井 保雄
理事	中川 邦明	評議員	松岡 由浩
理事	山本 憲作	評議員	諸貫 健一
理事	新井 啓介	評議員	八木原 保
監事	岩崎 安裕	評議員	横川 福治
監事	加藤 力也	評議員	奥田 七寿
監事	保泉 欣嗣	評議員	渡辺 久記

平成二十七年
度
(公財)忍郷友会役員名簿

評議員	長谷川 雅敏	幹事	中川 邦明
評議員	東 瑞芳	副幹事長	大澤 誠
評議員	福島 伸悦	副幹事長	渡邊 久記
評議員	細井 保雄	幹事	新井 誠
評議員	松岡 由浩	幹事	五十幡和彦
評議員	諸貫 健一	幹事	川島 亨
評議員	八木原 保	幹事	瀬山 文孝
評議員	横川 福治	幹事	長島 豊
評議員	奥田 七寿	幹事	長谷川雅敏
評議員	渡辺 久記	幹事	松岡 由浩

民法・刑訴法改正法案織込み別冊付き! [編集代表] 山下友信 山口 厚

ポケット六法

収録法令199件 平成28年版 定価2000円(税込)

安全保障関連法・特許法重要改正 [編集代表] 山下友信 中田裕康 山口 厚 長谷部恭男

有斐閣判例六法

Professional

平成28年版 定価5832円(税込)

民法・刑訴法改正法案織込み別冊付き! [編集代表] 中田裕康 長谷部恭男

有斐閣判例六法

平成28年版 定価2900円(税込)



代表取締役社長 江草貞治
株式会社 有斐閣

東京都千代田区神田神保町2-17
代表 03-3264-1312 FAX03-3264-5030

平成二十七年 度 会 員 名 簿

法 人 会 員

- (株)シンセイ開発
- (有)羽生モーターズスクール
- 医療法人 葦の会
- (株)碓井測研
- (株)有斐閣
- 小川工業(株)
- 大野建設(株)
- 税理士法人大久保会計
- 公認会計士
- (有)中央百貨店
- ガクヤ(株)
- 東旭(株)
- 小山商事(株)
- (株)清水アーネット
- ベルヴィアイトピア
- (株)協同バス
- 税理士法人森経理事務所
- (株)ファイブイズホーム
- (株)サンワックス
- 資青美矢沢商店
- 山本商事(株)
- (株)ヨコカワ
- 渡辺(株)
- (株)行田ガーデン
- 山本食品工業(株)
- (株)ジム
- (株)八木橋百貨店
- (株)十萬石ふくさや
- (株)ケイマス

- 新井 誠
- 五十幡 和彦
- 石井 義則
- 碓井 勝也
- 江草 忠敬
- 小川 雅以
- 大野 年司
- 大久保 毅
- 奥貫 健一
- 川辺 秀夫
- 小池 俊輔
- 小菅 克祥
- 小山 博
- 清水 龍男
- 清水 利一
- 鈴木 秀憲
- 府川 吉延
- 細井 保雄
- 山田 晃
- 矢澤 大和
- 山本 憲作
- 横川 福治
- 渡邊 久記
- 稲垣 功一
- 山本 正幸
- 八木原 保
- 八木橋 宏貴
- 横田 康介
- 黒淵 陽夫

正 会 員

- 秋山 佳于
- 新井 教弘
- 安部 節子
- 井桁 浄繼
- 伊藤 和江
- 岩田 讓啓
- 江原 史郎
- 大河原 梅夫
- 大谷 文孝
- 興 淳明
- 小澤 誠邦
- 香川 宏行
- 柿沼 貴志
- 片桐 章雄
- 加藤 誠一
- 川島 清実
- 川鍋 重寿
- 岸 誠太郎
- 木村 忠夫
- 栗原 毬子
- 木暮 照子
- 小菅 恵一
- 小林 邦雄
- 小松 和弘
- 斎藤 慶一
- 坂田 敬子
- 清水 孝男
- 須郷 和美
- 鈴木 敬一郎
- 鈴木 貞二郎
- 関根 俊一
- 滝田 和夫
- 田代 克太郎
- 阿部 哲也
- 新井 宏幸
- 飯島 千裕
- 石井 直彦
- 今井 福司
- 丑久保 紀美
- 江森 保
- 大澤 孝至
- 岡田 則之
- 小倉 佐江子
- 小幡 和佑
- 柿沼 貴代
- 風間 敏弘
- 加藤 元三
- 嶋田 武
- 川島 亨
- 川野 健人
- 岸田 昌久
- 倉田 君子
- 小池 利昌
- 小島 成一
- 小林 一好
- 小林 友明
- 小山 喜一郎
- 斎藤 準一
- 坂本 光代
- 清水 威男
- 須郷 隆
- 鈴木 茂
- 鈴木 寿子
- 高橋 弘行
- 田島 博夫
- 田中 利幸
- 阿部 秀二郎
- 新井 孝義
- 飯田 芳幸
- 伊藤 秀一
- 今津利之助
- 江草とみ子
- 及川 礼子
- 大嶋 康三
- 小川 秀樹
- 小澤 光太郎
- 折井 幸子
- 柿沼 京子
- 粕谷 悦昭
- 加藤 一夫
- 鹿山 高彦
- 川田 隆生
- 河原 孝子
- 木嶋 清
- 倉田 耕市
- 小久保 和子
- 小島 敏男
- 小林 義和
- 小林 遼子
- 斎藤 勲
- 斎藤 哲夫
- 島崎 政敏
- 杉田 禮三
- 鈴木 スイ子
- 鈴木 淳一
- 世川 祐多
- 滝澤 布沙
- 田島 正雄
- 津田 馨

- 富田 久子
- 長島 久雄
- 中村 博行
- 根岸 友憲
- 野口 啓造
- 橋本 祐一
- 長谷川 盛雄
- 羽鳥 弘
- 平井 ユリ枝
- 藤田 敬
- 古沢 勇治
- 町田 祥子
- 松本 健一
- 水谷 良二
- 最上 絹江
- 山田 映子
- 吉田 春代
- 若松 良一
- 根本 建志
- 三ツ井 誠
- 新井 弘美
- 浅見 隆之
- 平川 充保
- 土屋 徹一郎
- 中川 忠昭
- 中西 忠夫
- 中山 考文
- 根岸 仁司
- 野口 浩一
- 蓮見 牧子
- 島山 貞子
- 半田 太
- 平社 輝男
- 二味 宏
- 細谷 茂樹
- 松井 正俊
- 松本 安夫
- 水野 武久
- 森 安正
- 横田 保泉
- 吉田 寿夫
- 渡辺 幸子
- 戸ヶ崎 直司
- 長島 康雄
- 長野 武俊
- 新島 璋記
- 野口 昭夫
- 野村 正幸
- 長谷川 昌夫
- 島山 恒雄
- 東 美智子
- 藤倉 武
- 古市 恒裕
- 堀 秀雄
- 松平 由美子
- 丸山 和雄
- 武笠 勇
- 梁瀬 里司
- 吉田 幸一
- 吉田 豊彦
- 渡辺 邦道

(平成二十七年十二月一日現在)

平成二十七年 事業行事経過メモ

1 会議

(一) 総会

① 定時総会開催

(会務報告、講演会・懇親会) 開催

日時 平成二十七年六月二十一日(日)

参加者七十四名

午後三時～午後八時

会場 ベルヴィアイトピア

来賓

行田市長代理

岸田 昌久 様

行田市議会議員

平社 輝男 様

衆議院議員

野中 厚 様

行田商工会議所会頭

小川 雅以 様

行田商工会議所名誉会頭

鈴木 秀憲 様

行田商工会議所副会頭

大久保 毅 様

行田商工会議所副会頭

細井 保雄 様

行田ロータリークラブ会長代理

福島 伸悦 様

行田さくらロータリークラブ会長代理

阿部秀二郎 様

(公社) 行田青年会議所理事長

榑引 浩士 様

埼玉新聞社社長

小川 秀樹 様

作家(講師)

鮫島 純子 様

特別会員

小池ミチ子 様

松平忠昌議長の議事進行により、平成二十六年年度の事業及び決算、監査について報告を行なった。

記念講演

講師

鮫島純子(さめじますみこ)氏

(洪沢栄一の孫)

演題

「すべてに感謝」で 毎日がしあわせ

(二) 役員会

① 理事・監事会

日時 平成二十七年四月二十日(月)

午後三時三十分～五時

会場 行田本部事務所

審議事項

1 平成二十六年事業報告書

(案二) について審議

2 平成二十六年収支決算書

(案) について審議

3 平成二十六年年度の事業・決算

に係わる監査

4 理事、評議員、執行部役員の

退任に伴う選任の承認を求め

る件について

5 一〇周年事業に賛同を求め

る件について

6 その他

② 理事・監事会

日時 平成二十七年六月二十一日(日)

午後一時四十五分～二時

十五分

会場 ベルヴィアイトピア

③ 評議員会

日時 平成二十七年六月二十一日(月)

午後二時二十分～三時

三十五分

会場 ベルヴィアイトピア

審議事項

1 平成二十六年事業報告の承認を求め

る件について

2 平成二十六年収支決算の承認を求め

る件について

3 役員人事について

(1) 理事の改選

(2) 理事退任に伴う理事選任の承認を求め

る件

(3) 評議員退任に伴う評議員選任の承認を求め

る件

(4) 執行部役員退任に伴う執行部役員選任の承認を求め

る件

4 一〇周年事業に賛同を求め

る件について

(1) 記念誌委員会、祝賀委員会、記念事業委員会設置の承認を求め

る件

(2) 記念式典は十一月七日(土)に開催する件

その他

5 その他

④ 臨時理事会

日時 平成二十七年六月二十一日(日)

会場 ベルヴィアイトピア

審議事項

役員人事について

1 会長の互選

2 退任役員の見遇

⑤ 理事会

日時 平成二十七年八月四日(火)

午後四時～六時

会場 行田本部事務所

審議事項

1 一〇周年記念講演会

2 一〇周年記念式典

3 一〇周年記念祝賀会

4 一〇周年記念行事実行委員会組織

5 一〇周年事業経費

2 教育奨励事業

① 進脩塾二〇〇回記念講演会

日時 平成二十七年五月十七日(日)

午後二時～五時二十五分

場所 行田市商工センターホール

講演会

第1講

講師 野中 厚 衆議院議員

演題 「世界が認める美しい日本」

第2講

講師 荒井 桂 (公財) 郷学研

修所安岡正篤記念館副理事長・兼所長

演題 「新・立志のススメ」

参加者 二五〇名

② 定例講座

日時 毎月第四土曜日
午後六時～八時
会場 行田市商工センター四〇三
会議室

講師 荒井 桂先生(公財)郷
学研修所安岡正篤記念館
副理事長・兼所長

四月「孟子」荒井 桂先生
五月「孟子」荒井 桂先生
八月「孟子」荒井 桂先生
九月「孟子」荒井 桂先生
十月「孟子」荒井 桂先生

※行田ケーブルテレビにて放映
(内容) 進脩塾の目的、講義、
受講者の感想、今日の論語から

③ 忍藩子ども塾素読教室の開催

日時 毎月第一、第二、第三土
曜日 午前九時三十分～
十一時三十分

場所 行田市郷土博物館講座室
受講者 行田市内低学年児童(七
才～十三才まで)四十八名

講師 田代敬二、奥田七寿、川
田隆生
内容 論語・漢詩・古事記の学習

④ 東京支部素読教室開催

日時 毎月一回土曜日 午後二
時～三時三十分

場所 天眼寺(東京上野)
受講者 天眼寺関係者 十名
講師 川田隆生
内容 論語・漢詩の学習

⑤ 漢文検定試験の実施

日時 平成二十七年十二月十九日(土)
午前九時～午後三時十分

場所 行田市郷土博物館会議室
受験者 三十名(寺子屋の部初級、
中級、上級)

⑥ 出前出張授業

日時 毎週水曜日 午前八時十
分～午前八時三十分
場所 行田市立埼玉小学校全学年

講師 奥田七寿、川田隆生
内容 論語・漢詩の学習

Ⅱ「第三十回・浮城のまち行田少年
の主張大会」優秀者表彰

日時 平成二十七年十一月十四
日(土) 午後一時十五分～
四時三十分

会場 行田市教育文化センター
「みらい」ホール

発表者 市内小・中学校児童・生
徒、父兄等二五〇名参加
本会、鈴木秀憲 会長よ
り記念品を贈呈。

Ⅲ 読書推進実行委員会

・読み聞かせボランティアとの情報
交流会
日時 平成二十七年七月二十二
日(水) 午後一時三十分～
三時

会場 行田市商工センター四〇
二室
出席者 十四名

3 会報72号の発行

会報七十二号を平成二十七年十二
月一日に発行

4 慶 弔

全会員、市内各小、中、高校、幼稚員、
保育園及び素読教室関係者に配付

① 叙勲・褒章受章

野村 正幸 様(元行田市議会議長)
旭日小受章
平成二十七年四月二十九日付

② お悔み申し上げます

川島 清様
(平成二十七年四月一日ご逝去)
中村 猛様
(平成二十七年四月一日ご逝去)
吉田 修様
(平成二十七年五月三十日ご逝去)
植田 次郎 様
(平成二十七年八月九日ご逝去)

5 会員増強対策

新入会者紹介(敬称略 入会順)
紹介者(小山 博)
・伊藤 秀一 様
行田市忍一―十三―十六

農林水産省関東農政局土浦
地域センター総括農畜産安全
管理者
・横田 康介 様
行田市長野二―二十七―二十八

(株)十万石ふくさや代表取締役
地域センター総括農畜産安全
管理者
紹介者(栗原穂子)
・小林 遼子 様
熊谷市本石一―一九一

主婦

紹介者(倉田耕市)
・葛 久子 様
千葉市稲毛区園生町九八五の五
主婦
紹介者(福島仲悦)
・江森 保 様
行田市大字関根七三八
埼玉県防災センターマネージ
ャー

・松井 正俊
行田市荒木一〇二三―三
元小学校長
紹介者(矢澤大和)
・風間 敏弘 様
行田市富士見町二―三―一
㈱オープンハウス 代表取締役

・川野 健人 様
行田市忍二―三一―八
川野健人事務所長
紹介者(清水威男)
・堀 秀雄 様
行田市大字野六七六
元小学校長
合計九名

6、創立一一〇周年
記念事業

(1) 組織

実行委員長 松平忠昌
副実行委員長 鈴木秀憲、矢澤大和、大野年司

記念誌担当委員会
委員長・黒淵陽夫
副委員長・大谷純一、五十幡和彦

委員・橋本恭一、福島仲悦

講演担当委員会

委員長…新井啓介

副委員長…瀬山文隆

委員…倉持誠一郎、細井保雄、奥田七寿、中川邦明

祝賀担当委員会

委員長…清水龍男

副委員長…小菅克祥

委員…松岡由浩、小川智右

総務担当委員会

委員長…大野年司

副委員長…渡邊久記

財務担当委員会

委員長…山本憲作

副委員長…小池俊輔

委員…遠藤初枝、横川福治

確井勝也

(2)会議

平成二十七年八月十日

創立一〇周年記念事業委員会

委員長会議

同 八月二十五日 記念講演委員会

同 八月二十七日 式典委員会

同 九月二日 記念誌委員会

同 九月十七日 記念講演委員会

同 十月五日 記念誌委員会

同 十月十六日 記念講演委員会

同 十月二十日 委員長会議

同 十一月二日 記念誌委員会

上記以外にも打合せ会、多数

(3)第一部 創立一〇周年記念講演会

司会 瀬山 文隆評議員

日時 平成二十七年十一月七日(土)

午後1時30分より

会場 行田市教育文化センター

「みらい」

演題 謙信から宇宙まで歴史は駅伝のように

講師

上杉 邦憲 工学博士・米沢藩主上杉家第十七代

素読披露 忍藩子ども塾生徒・行田市立埼玉小学校生徒

聴衆 約四〇〇名

(4)第二部 創立一〇周年記念式典

司会 小川 智右評議員

日時 同日午後四時十五分より

会場 ベルヴィアイトピア・ガレリア

感謝状贈呈 渡邊榮一前副会長、小山博前事務局長

祝辞 川島 将史 行田市市長代理

野中 厚 衆議院議員

講演者 上杉 邦憲 工学博士・米沢藩主上杉家第十七代

来賓 上杉 邦憲 旧米沢藩主上杉家第十七代当主

川島 将史 行田市市長代理

平社 輝男 行田市議会議長

野中 厚 衆議院議員

鈴木 聖二 埼玉県議会議員

清水 孝男 行田商工会議所名譽会頭

小川 雅以 行田商工会議所会頭

細井 保雄 行田商工会議所副会頭

阿部 正靖 白河藩阿部家第22代当主

岡島 伸行 埼玉県立進修館高等学校校長

須郷 隆 埼玉浮き城プロバスクラブ会長

小澤 瑛 行田ロータリークラブ会長

阿部秀二郎 行田さくらロータリークラブ会長

榎引 浩士(公社) 行田青年会議所理事長

林 頼之 林初代会長ご親族

林 世志江 同上

小池ミチ子 小池英輔元副会長令夫人

(5)祝賀会 創立一〇周年祝賀会

司会 松岡 由浩評議員

日時 同日午後五時から

場所 ベルヴィアイトピア・パール

来賓祝辞 鈴木 聖二 埼玉県議会議員

小川 雅以 行田商工会議所会頭

榎引 浩士(公社) 行田青年会議所理事長

乾 杯 清水 孝男 行田商工会議所名譽会頭

中締め 渡邊 栄一 当会前副会長

林 頼之 林初代会長ご親族

阿部 正靖 白河藩阿部家第22代当主

7、予定

市民公開講座

修己の書「小学」を読む

日時 平成二十八年二月二十日(土) 十四時十五分より

場所 行田市商工センター401会議室

講師 荒井 桂(公財)郷学研修所安岡正篤記念館副理事長・兼所長

申込み 原則往復はがきで当会へ申込み



小山商事株式会社

会長

小山 博

社長

小山 喜一郎

本社 行田市埼玉三三五一

TEL〇四八―五五九―四二二(代)

リカリッシュ旭町店

TEL〇四八―五五九―三七二

リカリッシュ太井店(熊谷)

TEL〇四八―五五九―四七二

宝くじ売場持田店

TEL〇四八―五五三―四七二

第三十回 浮き城のまち行田

「少年の主張大会」

少年の主張 副委員長 瀬山 文 孝

平成二十七年十一月十四日(土)十三時より行田市教育文化センター「みらい」ホールにて、第三十回浮き城のまち行田「少年の主張大会」が開催されました。

この大会は市内の小・中学校の代表者が日常生活を通して考えていることを市民に発表するもので、青少年健全育成を図るために、行田市教育委員会・青少年育成行田市民会議



が主催し、(公財)忍郷友会が後援となり毎年開催されているもので、昭和六十一年度の初回から今年まで三十回目になります。発表者は市内小学校六年生十九名と中学校三年生と今回は一年生も一名参加して合計二十九名の児童生徒が参加しました。今年のテーマは戦後七十年という節目の年も有ってか、戦争や平和に関するものが多く有りました。他には家族・いじめ・スポーツ・将来の夢・日常生活の中で感じること・など多岐にわたるテーマで力強く発表していただきました。

主催者を代表して行田市教育委員会 教育長の森郁子さまのご挨拶があり、来賓挨拶では当財団の鈴木副会長よりご挨拶をいただきました。鈴木副会長からは「第三十回目の少年の主張大会が、盛大に執り行われたことにお祝いを申し上げます。すばらしい内容の発表が行われることに今からわくわくしています。ここで忍郷友会の成り立ちを少し話させ

ていただきますと、今から百十年前、身分を問わず女子もあわせ、志を持つて一生懸命勉強する若者を支援しよう、と、忍藩にゆかりの人たちが発足させました。以来この考えを変えることなく若者の勉強支援を続けています。

本日、当会の松平会長から発表者の皆さんに「志」「学」「愛」「感謝」の四つの言葉を預かってきました。学んで志を果たす。これはあなたの努力に依るものかもしれません。しかし、あなたの努力だけではなかなか成功しません。あなたの周りの方々の温かい愛があるから成功できるのです。常に周りの方々に感

謝しましょう。そうすればあなたは大きく羽ばたくことが出来るでしょう。」と結ばれました。審査終了後、主催者代表より表彰状を、鈴木副会長より発表者全員に「広辞苑」が贈呈されました。優秀者は次回賀正会にて発表していただきますのでどうぞお楽しみにしてください。

当会からは鈴木副会長・岩崎監事・矢澤事務局長・奥田評議委員の参加を頂きました。

来年の三十一回目の大会にも多くの会員の参加をいただければと思っております。是非、子供達の生の発表をお聞き下さい。

忍郷友会会長賞三作品を紹介します

忍郷友会会長賞 小学校の部

未来へつなげる

行田市立北小学校六年 竹尾 胡桃

みなさんは、七十年前の日本を知っていますか。今年には戦後七〇年です。七十年前の日本は、戦争に敗れ、貧しい生活を送っていたといえます。私は図書室にある一冊の本を読み

ました。その本は、『はだしのゲン』という本で、広島に原爆が投下されたときの話でした。皮ふがはがれ、かみの毛は燃えてなくなっている死体が広島町のいたる所に積ま



れている様子がえがかれていました。本の最後に「生きても地獄、死んでも地獄」と書かれていました。現在の戦争のない日本に住んでいる私にはとても信じられません。想像しただけでも胸が苦しくなります。しかし、これは現実なのです。

私はこの本を読み終えて、戦争について関心をもち、調べてみました。調べてみると、特攻隊という言葉が多く見られました。特攻隊とは、主に戦争経験の浅い若者が直接飛行機で敵にぶつかって戦う部隊です。敵機体への予想命中率はたったの十一パーセントだったそうです。しかし、この戦法は、人の命が大切に扱われていないとしか私には思えず、腹立たしく思いました。人の命を粗末にしてしまう戦争を、私は許せません。

祖父からも戦争について話を聞きました。

「胡桃は妹とケンカをするだろう。国と国とが話し合いで解決できなくなつて、大きくなつていったケンカが戦争なんだよ。」

私は考え込んでしまいました。私は妹とよくケンカをします。ケンカをしても、時間がたてば仲直りできますが、政治の面ではそううまくはいきません。相手国の考え方を理解しようとしたり、親しみをもちて接したりしていくことが大切なのだと思います。これは、周囲の人と接するときも同じ事が言えるので実践したいです。

これから私達が大きくなり、また戦争が起きることはあつてはなりません。一人一人が自分の命を大切に、これはおかしいと気付ける心をもつて、これから先も戦争をしない国であつてほしいです。そのために、戦争がどれほどおそろしいものかを知ること大切だと思います。そして何よりも『思いやり』の心があれば平和な世界になるのではないのでしょうか。

心と心の橋渡し

行田市立下忍小学校六年 船橋 知夏



「知夏が早く治ってくれるのをいっているよ。元気になってみんなで遊ぼうね。」これは、私が友達からもらった、一生大切にしようと思つた手紙の一節です。

私は、五年生の秋に、虫垂炎で入院しました。それまで、学校を長く休むような大きな病気も手術もしたことがなかったのですが、とてもショックでした。無事手術が終わつても傷口の痛みと学校に行けない寂しさで涙が止まりませんでした。起き上がられるようになってからも、学校が

見える場所に行つては、勉強のことや友達のことを思い出し寂しい気持ちでいました。

そんな時、担任の先生を通してクラス全員から手紙をもらいました。みんな紙いっぱい学校での事、勉強のこと、休み時間のことなどをたくさん書いてくれました。一枚一枚読んでみると、自然に友達の顔が思い浮かびうれしい気持ちになると同時にたくさんさんの元気をもらうことができました。私は一生懸命に返事を書きました。手紙をもらつてうれしかったこと。手術の痛みや入院生活の不安。早く学校に行きたい気持ちなど、夢中で書きました。書きながら、目の前で友達とおしゃべりしている気持ちになりました。

今の時代、友達とのやりとりはパソコンや携帯電話でのメールやLINEがほとんどです。素早くやりとりができるのでとても便利です。そのため、最近手紙よりも多く利用されるということを母から聞いたことがあります。でも、便利なメールやLINEも使い方や書き方を間違

えると、相手を傷つけてしまったり、関係のない人に送ってしまったりと大変なことになる場合もあるそうです。

私は、小さい頃から手紙が大好きです。家族や友達に伝えたいことがあると、すぐに手紙を書きます。相手のことを思いながら便せんを選び、相手の顔を思い浮かべながら書くのは、とても楽しいです。今回、私は友達から心温まる手紙をもらったこ

忍郷友会長賞 中学校の部

日本人が忘れかけている心

行田市立埼玉中学校三年 田中綾 萌



とで、手紙の良さを改めて見直すことができました。私のことを思い、私のために書いてくれた手紙は、書きだからこそ気持ち伝わったのだと思います。

しばらく手紙を書いていないという人。手紙なんて恥ずかしいと思っている人。久しぶりに、大切な人へ手紙を書いてみませんか。きっと心と心をつなぐ橋渡しをしてくれるはずです。

二〇一三年九月八日。あの日、ブエノスアイレスにて行われたオリンピック開催地選考会での日本のスピッチを覚えていますか？「おもてなし。おもてなし」このフレーズが一番印象に残っていると思います。あの時から、「おもてなし」は日本にとどまらず、世界でも注目されました。しかし、日本の「おもてなし」はあの時から始まったことではありません。古くから日本人の心に根付いていた、素晴らしい心なのです。

小学校三年生。私は友達に誘われて茶道を習い始めました。茶道では、お茶の作法を習う。そう考えていましたが、先生から一番に習ったこと

は畳の拭き方でした。「そんなことわかってる。」胸の中ではそう思っていました。すると先生は言いました。「掃除は部屋をきれいにするだけじゃなくて心もきれいにしてくれるよ。そして、次にこの部屋を使う人が気持ちよく使えるように、掃除をするだよ。これもおもてなしの心だよ。」私は、先生にこう言われるまで、掃除Ⅱやらされているものと感じていました。しかし、先生に教えられてからは、掃除Ⅱおもてなしの心と考えるようになりました。

小学校六年生。私は釜を使ったお点前を教わりましたが夏と冬では同じお点前でも釜の位置が違うことに気づきました。夏ではお客さん側に水さしを置いていたのに冬はその場所に釜を置きました。私は不思議に思い先生に聞きました。「どうして、夏と冬では、釜の位置が違うのですか？」すると先生は言いました。「釜は熱いから夏にお客さん側に置いてしまうとお客さんが暑くなってしまう。でも、冬は寒いからお客さん側に釜を置くことによって、暖を生きておもてなしの心だよ。」この

時、おもてなしの心ってなんて美しい心なんだと思いました。

身の回りにもその心がないか考えてみました。例えば、お箸。食事の時、だいたいの人が口にいれる方を左側に向けて置くと思います。無意識のうちにやっているかもしれないですが、これも相手が食べやすいようにと考えたおもてなしの心だと思います。

私は、茶道に生きるおもてなしの心や日本人の習慣となっているおもてなしの心をこれらの経験を通して学ぶことができました。私は日本人に昔から根付いているこの心を、美しく、そして世界に誇れる素晴らしい心だと確信しています。だからこそ、この心を大切にしていかなければならないのです。しかし、その心を大切にできなかったり忘れてしまったりしている人がいるようです。日本人が忘れかけている心とは、習慣に生活に根付いているはずの、このおもてなしの心なのです。私は古くから続く日本特有のこの心を伝統文化が受け継がれるように、後世につなげていきたいです。そして、日本にとどまらず、世界にも広く発信していきたいです。

自分の胸に問いかけてみてください。「忘れかけている心はないか」と…。

読書推進運動について

読書推進実行委員長 大野 年 司

「うれしい絵本」

読み聞かせボランティアの皆様に向けた研修も、今年で十二回目となりました。

今回は元保育士の経歴を持つ、J P I C 読書アドバイザーの「聞かせ屋。けいたろう（坂口慶）」先生を講師にお迎えして、ページのめくり方まで含め、実践的な研修を行いました。



した。初めての男性講師となりましたが、大変好評で、約九十名という今迄にない参加人数となりました。今回は進修館高校の生徒さんも二十名程参加され、大変熱気あふれる研修となりました。

年一回行われるボランティアの皆様との意見交換会の中で、「最近男性の読み聞かせボランティアの方の人気が上がリ、その人数も増えている」とお聞きしたのが、男性講師に

依頼した経緯です。

坂口先生は、夜の路上で絵本の読み聞かせを始めたという方です。初めてのお客様は二人の女子高生だったそうです。「大人だって絵本を読んでもらうことは嬉しい。いつも絵本は、人と人をつないでくれる」とのこと。「人と人がつながる嬉しさを、絵本を通して感じてほしい」とおっしゃっておいりました。

読み聞かせボランティアの皆様が本にさらに親しんでくれることを期待しております。

(公財)忍郷友会・茶道部 部員募集

- ☆ 茶の湯に関心があり、その精神を理解する方
- ☆ 茶道部活動に協力し、共に茶道文化の向上を目指したい方

ご希望の方は事務局までお申し出下さい



快適ガスライフ

サイカン工業株式会社

エネスタ行田 エネスタ熊谷
エネスタ鴻巣 エネスタ鴻巣西

快適な環境づくりをめざして

(株)清水アーネット

行田・熊谷・小山

進脩塾活動について



進脩塾主幹 田代 敬 二

通り魔的傷害事件・放火・殺人・死体遺棄・オレオレ詐欺の猖獗など暗いニュースが後を絶ちません。加うるに人口急減社会到来の警告です。消滅可能都市八九八の中に、行田市の名前も刻まれています。近未来の行田市の繁栄が危ぶまれる今日、私たちは後世の人たちの為に何を遺していつてやる事ができるのでしょうか。

それは、小さいけれども誰でもがすみたくなるような教育文化都市の姿です。いよいよ（公財）忍郷友会の出番であるといえます。何故なら、曾つて忍藩は埼玉県下に並ぶものがない教育都市であったという歴史を持つからです。

忍藩藩校進脩館は藩士の子弟の育英のために設立されたもので、当時の中心的学問であった朱子学のみを学ぶことが定められていましたが、幕末頃になるとその範囲も広がり、

書道・国学・習字がおかれ、さらには兵学・武術もおかれていました。武術には剣道・槍術・馬術があり、のちには洋学や砲術も加えられ、士分の者には戦場での駆け引きを学ぶための兵学を以下の者には職務上必要な算術及び習字を学ぶことが決められていました。教授陣も豊富で、生徒数は一五〇人であったといわれており、今日で云えば堂々たる総合大学の観を呈していたわけです。私たちは、この忍藩の教育文化を現代に継承し、作興して次代に伝えなければならぬと思うものです。進脩塾はその一端を担い、庶民の教育機関であった。私塾・寺小屋の役割を果たすことができればよいなど、思っている次第です。以下本年の進脩塾の活動は次の通りです。

進脩塾講座

平成二年十二月二日にスタートした第一回講座より二十五年五月には二百回を迎え、皆様のご支援ご協力により、盛大に記念講演会を開催いたしました。

定例講座は次の通り開講致しております。

日時 毎月第四土曜日 午後六時～八時まで

場所 行田市商工センター四〇三会議室

講座 安井息軒の「孟子」定本・副読本として吉田松陰の「講孟割記」

講師 荒井 桂先生
(公財)郷学研修所・安岡正篤記念館副理事長兼所長

素読 田代敬二指導による荒井桂先生の「安岡正篤光明蔵を読む」

進脩塾創設二〇〇回記念特別講演会の開催

日時 平成二十七年五月十七日(日)

場所 行田市商工センターホール

演題 「世界が認める美しい日本」

講師 野中 厚
(衆議院議員)



「新立志のススメ」

講師 荒井 桂

素読発表 忍藩子ども塾・埼玉小・天眼寺素読教室生徒五十

二名参加しました。

*終了後、「二十五年間にわたる物心両面からのご支援に感謝申し上げます」を催しました。

忍藩子ども素読教室

開塾十一年目を迎え六歳から十二歳までの在籍者四十八名となり、素読の元気な声が城址に響いております。平成二十二年度より教育委員会の支援を受け年々入塾者の増加を見ております

「論語百〇七章」・「漢詩四十一編」・「大学」・「湯島聖堂の寺子屋編」のテキストを使用、初級組・中級組①・中級組②・上級組の四クラス編成で行っております。

素読だけでなく、田代先生による四文字熟語や中国故事・歴史話など思いやりの心、孝行などを主題に十分～十五分間各クラスにて講話を行っております。

忍藩子供塾心得
真心で人に接すること
目上の人の言いつけに従うこと
決して嘘をつかないこと
弱いものいじめをしないこと
思いやりの心を忘れぬこと

一期生・二期生は、現在高校生となりました。数年後には、講師として後輩塾生の指導員として、来て頂きたいと願っております。

授業内容

初級組 初年度入塾生対象
論語・漢詩（初級編）
寺子屋編

中級①組 入塾二年目対象
論語・漢詩（中級編）
寺子屋編

中級②組 入塾三年目対象
論語・漢詩（中級編）
寺子屋編

上級組 入塾四年目以上対象
論語・漢詩（上級編）
大学・寺子屋編

主な行事

年二回の論語・漢詩素読発表会への参加
湯島聖堂漢文検定試験への受験
寺子屋編の初級・中級・上級・終了試験

開催日 毎月第一・第二・第三土曜日
時間 午前九時から午前十一時五十分

授業対応者 進脩塾主幹・指導員四名・塾生及び父兄対応者二名 計七名

テキスト

忍郷友会刊行「論語素読教本」・「漢詩素読教本」・「大学教本」
湯島聖堂漢文検定編集委員会刊行

天眼寺親子素読教室

松平家菩提寺、江戸の大学者太宰春台が眠る格式高いお寺、都内谷中と好立地に開塾五年目を迎えることができました。

授業はクラス編成せずに、一時間余り素読を主体に子供も大人も一緒に楽しめる内容に変えつつあります。素読に魅せられた方々が月一回の授業に熱心に集まっております。

特に、開塾以来の塾生であります伊東知穂さん（中一）は、全国最年少で湯島聖堂漢文検定試験「藩校編・中級」（高校生レベル）に本年度合格されました。

素読に魅せられた英国人のトレバ1さん（男性）も月一回の塾に休まず出席され授業後のお茶会では、短い論語を英訳され、論語・漢詩の英国人流な解釈を披露されております。塾生が少ないためアットホームな雰囲気ですが、今後は素読の素晴らしさを喚起し、塾生増加対策に努めたいと考えております。

湯島聖堂漢文検定「寺子屋編」

（文責／川田 隆生）

授業内容

論語・漢詩の素読
大学の素読と解釈
中国の故事・寓話
藩校編（高校程度）の素読（白文）と解釈
天眼寺（臨済宗）和尚様の法話

主な行事

論語・漢詩素読発表会への参加
湯島聖堂漢文検定試験への受験

開催日 毎月第二土曜日
授業時間 午後二時三十分～午後三時三十分

授業後のお茶会
約三十分

（文責／川田 隆生）

漢文検定試験について

忍藩こども塾・天眼寺素読教室では、論語・漢詩の朗誦などを楽しみながら、漢文に興味をもってもらう為、希望者には湯島聖堂の漢文検定を行っています。平成二十二年に開始し、七年目となりました。昨年度は小学三年生で始めて一級（上級）合格者が出ました。今回も多く受験者が挑戦します。全員合格を果たすものと信じております。

平成二十七年検定試験概要

寺小屋編

論語・漢詩三級（初級） 試験管の前で朗誦する

論語・漢詩二級（中級） 試験官の前で朗誦と筆記試験

論語・漢詩一級（上級） 筆記試験のみ

論語・漢詩初段（寺小屋編終了試験） 筆記試験のみ

日時 平成二十七年十二月十九日（土）

場所 行田市郷土博物館講座室

（文責／奥田 七寿）

埼玉小学校の論語・漢詩素読出前授業

平成二十四年にスタートした埼玉小学校（岡島伸行校長）の論語・漢詩素読出前授業は四年目となり、毎週月曜日始業前に二十分間行われています。今では学校自慢の一つになっており、素読は「楽しい・もつとやりたい」との声が多く、論語・

漢詩を皆で大きな声で楽しくリズムよく朗誦する声が聞こえてきます。二月六日の埼玉小学校開校百四十周年を祝う会には、学校より依頼を受けられた田代敬二氏制作の漢詩が先生・生徒全員により朗誦披露されました。

賀埼玉小学校創立百四十年

独道

紫峰俱望富峰光

古刹古墳蓮溢郷

休説如今良俗絶

児童斉唱学而章

埼玉小学校創立百四十年を賀す

独道

紫峰俱に望む富峰の光くを

古刹古墳蓮溢るるの郷

説ふを休めよ如今良俗絶ゆと

児童は斉唱す学而の章

〔注釈〕 独道 作者田代敬二氏の号

富峰 富士山 如今 現今 学而章 論語

紫峰 筑波山 俱 後ろ

〔大意〕 筑波山を背にして南を見ると、白雪をまとった神々しい富士山がかがやいて見えます。

この埼玉の地は、一千年来の伝統と歴史を持つお寺があり、古代ロマンを秘めた九基の大型古墳があり、古代の蓮が花咲く埼玉県名発祥の地であります。

現今の日本の社会は、道徳は廃れ、良い風俗習慣は絶えたというけれど、それを言うのはやめて欲しい。

今、埼玉小学校の児童たちは、日本の明るい未来の到来を信じつつ、全員で論語を斉唱しているのです。

進脩塾創設二百回記念特別講演会（五月十七日（日））、

忍郷友会一〇周年記念講演会（十一月七日（土））の

論語・漢詩素読発表に多くの生徒有志が参加し、素

晴らしい朗誦に感動させられました。

（文責／奥田 七寿）



贈呈いただいたCDなど

九月十四日（公財）忍郷友会事務局にて、清水孝男様よりの「安岡定子のやさしい論語・CD十二巻」の贈呈式が行われました。

「論語」は古来、多くの日本人に愛され、親しまれてきました「人生の教科書」とも言われ、苦しい時に寄り添ってくれる言葉、一歩踏み出したい時に勇気を与える言葉等が綴られています。贈呈頂いた物はこれまでに無く、大変やさしく分かりやすく、又楽しく学べるようになっていきます。

清水孝男様より「安岡定子のやさしい論語・CD全十二巻」が寄贈されました。



清水孝男様より鈴木秀憲副会長へ

「忍郷友会教育奨励事業の一つである、忍藩こども素読教室活動に役立ただければ」とのコメントを頂きました。今回の寄贈品を活用させて頂き、より一層の素読教室の活性化、指導員のレベルアップに役立ってたいと思っております。

(文責／川田 隆生)



株式会社ファイブイズホーム
 代表取締役社長
 細井 保雄

公益財団法人 忍郷友会 110周年記念事業

平成27年11月7日（土）

●記念講演会 於：行田市教育文化センター「みらい」

テーマ 「謙信から宇宙まで ～歴史は駅伝のように～」

講師 工学博士/JAXA [宇宙航空研究開発機構] 名誉教授
旧米沢藩主上杉家第17代当主（上杉宗家第32代当主）



うえすぎくにのり
上杉邦憲氏

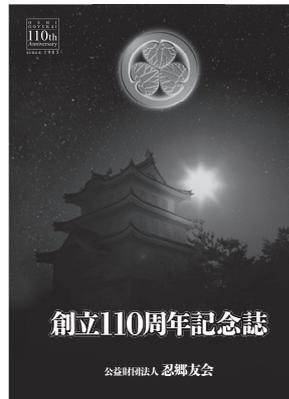
●記念式典

於：「ベルヴィ アイトピア」
行田市持田2792-1

●祝賀会

於：「ベルヴィ アイトピア」
行田市持田2792-1

●創立110周年記念誌 発行



110周年記念行事の総括について



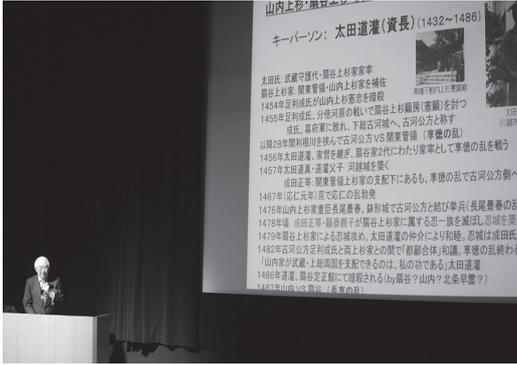
講演前のくつろぎ

一一〇周年記念行事の総括について



忍郷友会 副会長 鈴木秀憲

「士族に限らず東京と地方を問わず旧忍藩の縁故を有する者は、士農工商の別なく女子も併せ、互いに知識を交換し便宜を与え、有為の青年にして学費に乏しきものを扶助しその志を遂げしめる。」以上をその設立趣旨として掲げ、明治三十八年十月二十二日忍郷友会は設立されました。今から一一〇年前のことです。



この節目の年に我々の考えるべきことは、現在われわれが行っている事業は設立当初の意に沿っているかどうか？又、一方で、現在われわれが行っている事業はこの十年間で進化したかどうか？という事であると考えます。そして更にこれからの事業をどのように考えて行うのか？これが周年事業の大切な役目であると考えます。

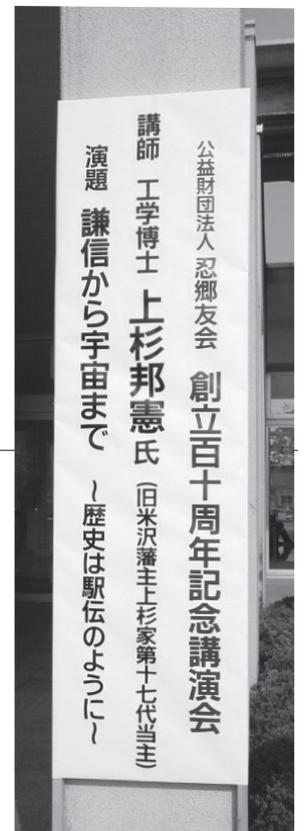
一〇〇周年記念誌によると、忍郷友会会報が行田市郷土博物館に寄託されているとの事で、早速郷土博物館へ足を向けました。

明治三十九年刊行の忍郷友会会報第二回に記述（設立の趣旨は発会時に口頭で演説されましたが、その後に入会者等から資料請求をされたので、改めて要点を抜粋しその趣旨の貫徹を期して第二号に掲載）してあった言葉の要約が、拙文の冒頭部分です。流石と感心すると共に、当時としては画期的な事であったらう

と推察するばかりです。この設立趣旨に沿って、一一〇年の歴史と共に、そして時代の変化に対応しながら、今後の事業展開を行うべし。と、改めて認識致しました。

周年事業は、あくまでも組織内事業ですが、忍郷友会は公益財団法人ですので、記念事業として一般に呼びかけた講演会を行う事が良いと考え、松平会長にお願いし、上杉家第十七代ご当主上杉邦憲様のご講演頂く事になりました。

上杉邦憲様は、長くJAXA（宇宙航空研究開発機構）で活躍され、現在でもその役員として、活動をされています。氏は大変熱心な方で、講演会資料（スライド原稿）を事前にご当会へ送付くださいました。私たちはその膨大な量と密度の高さに驚き、急遽印刷し資料として参加者全員へ配布する事にさせて頂きました。お話の内容は資料以上に詳しく説明頂き、大変参考になりました。そ



素読教室

してご講演頂く時間設定が短かったことを、大変申し訳なく思っています。

講演会後の記念式典には、多くのご来賓にご出席いただき、厳かな中に和やかな雰囲気で行う事が出来、又、松平会長による今後の事業指針も「青少年の教育を支援し、これからの日本を支える『違いの判る人材の育成と輩出』を目指す。『一燈照隅』の精神で、自らが果たす事のできる役割を推進しつつ、会員の皆様を含めた郷土の方々の心の拠り所となるように心掛けていく。」と発表され、会員一同この方針に沿って、公益事業に邁進する気持ちを新たにしました。

祝賀会は、和田綾香さんのピアノ演奏をバックミュージックに、楽しい懇談が弾み、ご来賓と会員、或は会員同士の会話に花が咲きました。各場面で準備等にご尽力下さった方々に厚く御礼申し上げます、そして、ご多用のところご出席くださいました多くの皆様方に心より感謝申し上げます。



松平会長挨拶



感謝状授与 前 小山事務局長



感謝状授与 前 渡邊副会長



祝賀会 懇談



松平会長



祝辞 小川行田商工会議所会頭



祝賀会 懇談



新役員によるお見送り



社員送迎バス
スクールバス

/// Kyodo Bus Group

コミュニティバス

株式会社 協同バス
TEL: 048-554-0808 (予約)
埼玉県行田市佐間1-20-36

街道が通る百貨店

中山道といえば五街道のひとつ。
熊谷も、当時宿場として大いに賑わったと言います。

実はそんな旧街道の道跡に、八木橋百貨店はたっています。一階売り場を東側入口から西に抜ける通路がちょうどかつての中山道になります。

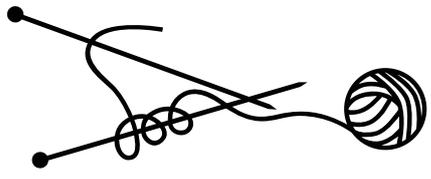
八木橋はおかげさまで、今年創業118年。これからも選りすぐりの逸品をご案内いたします。




118周年
熊谷 八木橋
〒360-8502 熊谷市仲町74番地 ☎048-523-1111 [八木橋] 緑画

FASHION CREATORS HOUSE

gim[®]
co.,ltd.



株式会社ジム
代表取締役会長
八木原 保

「地域共存」65年
税理士法人 大久保会計

所 長 税理士 大久保 毅
副所長 税理士 大久保 栄吾
支店長 税理士 大久保 秀彦

〒361-0023 埼玉県行田市長野二丁目二五番三三三号
埼玉県熊谷市津田一一八八番地

御名刺掲載欄

(順不同)

公益財団法人忍郷友会

会長

松平忠昌

〒214-0038 川崎市多摩区生田六一一五―三三六
電話 ○四四―九五五―九三三六

特別会員

白河藩阿部家二十二代当主

阿部正靖

〒297-0057 千葉県茂原市中善寺一一〇九―八
電話 ○四七五―二六―五五七九

株式会社 ケイマス

代表取締役

黒渕陽夫

〒361-0074 埼玉県鴻巣市赤城台三六二―二二
TEL ○四八―五六九―二二五二
FAX ○四八―五六九―二二二二

公認会計士

奥貫健一

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷三一―十五―四〇一

天眼寺住職

東 瑞 芳

〒110-0001 東京都台東区谷中一一―二―十四
電話 ○三―三八二―七七七八

行田セレモニー

(株)ヨコカワ

代表取締役会長

横川福治

〒361-0073 埼玉県行田市行田一一―三三三
電話 ○四八―五五六―二二五六

醉翁亭

華 月

平井ユリ枝

〒361-0072 埼玉県行田市宮本二―八
TEL ○四八―五五六―一七五五

大野建設株式会社

代表取締役

大野年司

〒361-0056 埼玉県行田市持田三丁目四番三号
電話 ○四八(五五三)〇一〇〇

開山慶長十一年
水戸黄門様ご宿泊のお寺

曹洞宗 龍淵山祥雲寺

住 職 大西義道

〒300-0744 茨城県稲敷市押砂九三二
電話 ○二九九(七九)〇〇六四
FAX ○二九九(七九)〇〇六四
携 帯 ○九〇(八六四二)四四三一

社会福祉法人財団若葉

若葉保育園

園長 保泉欣嗣

〒361-0073 埼玉県行田市行田一一―十
電話 ○四八(五五六)二七九七

ITの困りごと解決します

ホットネット株式会社

〒361-0016 埼玉県行田市藤原町二―七―七
電話 ○四八―五八〇―三〇七七

ガクヤ株式会社

代表取締役社長

小池俊輔

〒361-0075 行田市向町十四―二十
電話 ○四八―五五六―三二二二

行田市俳句連盟

木嶋清
(俳号斗川)

〒361-0001 埼玉県行田市北河原六三〇
電話・FAX ○四八(五五七)〇二七三



医療法人 葦の会
石井クリニック
元気いっぱい 笑顔いっぱい

理事長 石井義則

〒361-0037 埼玉県行田市大字下忍一〇八九―一
電話 ○四八―五五五―三五一九

山本食品工業株式会社

山本正幸

〒361-0025 埼玉県行田市埼玉四八六一
電話 ○四八―五五九―二二二二

東旭株式会社

代表取締役社長
小菅克祥

〒三六一〇〇一六
埼玉県行田市藤原町一丁目六一一
TEL(〇四八)五五六一四五五一(代)
FAX(〇四八)五五六一四五五六

忍藩子ども塾素読教室

主幹
田代敬二

〒361-0073 行田市行田一六一一六
☎〇四八一五五六一三七二八

大岡産業株式会社

代表取締役

大澤 誠


埼玉県行田市谷郷一三三〇一
TEL(〇四八)五五三二〇二八
FAX(〇四八)五五三二六八〇
携帯〇九〇一六〇二一六〇
http://www.ookasangyo.com/

渡辺株式会社

代表取締役会長

渡邊 栄一

〒361-0073 行田市行田一四
電話〇四八一五五六一三一四六
FAX 〇四八一五五六一二二八八

松雲山 長光寺
曹洞宗 久寶山 興徳寺
雲峯山 東泉寺

住職
福島伸悦

(連絡先)
埼玉県行田市下中条一六一九一二
電話〇四八一五五七一一〇九九九
FAX〇四八一五五七一一〇三四七
E-Mail: kotokujii@nuc.biglobe.ne.jp

山本商事株式会社

東京海上日動火災保険株式会社(代理店)
東京海上日動あんしん生命保険株式会社

代表取締役
山本憲作

〒361-0074 埼玉県行田市旭町一〇一四三
TEL(〇四八)五五二二二二一(代)
FAX(〇四八)五五二二二〇八
http://hoken-yamamoto.co.jp
e-mail: info@hoken-yamamoto.co.jp

羽生モータースクール

代表取締役

五十幡 和彦

〒348-0036 埼玉県羽生市大字砂山八〇
TEL(〇四八)五六一一三〇〇八
FAX(〇四八)五六一一一五四七
http://www.motorschool.co.jp
E-mail: hanyu@motorschool.co.jp

行田市 蓮の大使

木暮照子

日展会友・工芸美術
日本新工芸家連盟会員
蓮文化研究会理事・副会長

株式会社 リノン

LINON CORPORATION

代表取締役
新井啓介


〒361-0038 本社 埼玉県行田市前谷二五
Office: 25 Meiya Gokoshin Satama-ken Japan
TEL(〇四八)五五一〇五九九 FAX: 五五五二二七
携帯(Cell)〇九〇一三三三〇四三
http://www.linon.co.jp E-mail: arai@linon.co.jp

有限会社 高戸環衛

埼玉県知事登録番号 第515105号
〒515-1055 貯 第7973号

代表取締役
戸ヶ崎直司

〒361-0062 埼玉県行田市藤原町三十一一二六
電話〇四八一五五四一九二〇
FAX 〇四八一五五六一二六二七

地元に着した住まいづくり
株式会社 ファイブイズホーム

代表取締役

細井保雄

〒361-0056 埼玉県行田市持田三丁目一番一七号
電話 〇四八(五五三)二二七二

会長

飯田芳幸


株式会社エンボリック
〒361-0001 埼玉県行田市北河原七〇五番地
TEL(〇四八)五五七三三六六(代表)
FAX 〇四八一五五七三三二二

作業服ならお任せ下さい

株式会社

武蔵野ユニフォーム

〒361-0016 埼玉県行田市藤原町二一七一一七
電話 〇四八一五五四一七三二五

全国PHP友の会

特任顧問

加藤力也


〒362-0034 埼玉県上尾市愛宕三二二一一九
TEL 〇四八一七七一二五八五
E-mail: show-katou@nifty.com

綿貫守男

綿貫守男

〒110-0016 東京都台東区台東一丁目三七番一〇号

小澤企画

各種相談・企画・コンサル

代表
小澤誠邦

〒361-0006 埼玉県行田市大字白川戸七〇二二一
TEL(〇四八)五六四一一一一
FAX(〇四八)五五二一〇五八二

 <p>株式会社倉持商店 紺織製品製造本舗・力王たび代理店 代表取締役 倉持成一郎</p> <p>〒361-0022 埼玉県行田市桜町一丁目二十一番地 TEL 〇四八―五五六一―九一四 FAX 〇四八―五五三一―三八三</p>	<p>合資会社 青美矢沢商店 代表社員 矢澤大和</p> <p>〒361-0073 埼玉県行田市行田二十―二十五 TEL 〇四八―五五六一―三三二 FAX 〇四八―五五六一―三七七</p>	<p>創業 文久二年 伝統の味 割烹 魚豊 橋本恭一</p> <p>TEL 〇四八―五五三一―三一三 FAX 〇四八―五五三一―一四</p>	<p>(株)味工房 那のつ 代表取締役 阿部秀二郎</p> <p>〒361-0023 埼玉県行田市長野一―三三一―一〇 電話 〇四八―五五五―一四五〇</p>
<p>根岸友山・武香ミュージアム 根岸友憲</p> <p>〒369-0104 埼玉県熊谷市冑山一五二番地 電話 〇四九三―三九一―〇〇六</p>	<p>渡辺株式会社 代表取締役社長 渡邊久記</p> <p>(グラフィック事業部) 〒361-0077 埼玉県行田市忍一―五十一―一〇二 電話 〇四八―五六四―六五二五</p>	<p>株式会社 セテイアコーポレーション 代表取締役 岩崎安裕</p> <p>〒323-0028 栃木県小山市若木町二―十一―一五 TEL 〇二八五―二二一―八八三三(代) FAX 〇二八五―二二一―三五七七</p>	<p>《昭和14年創業》 各種自動車・重機・ラヂエーター販売修理 有限会社 小笠原ラヂエーター工業所 代表取締役 中川邦明</p> <p>〒360-0023 埼玉県熊谷市佐谷田一四三二番地 TEL 〇四八(〇四八)五二一―一三三九(五代) FAX 〇四八(〇四八)五二一―一三三八(四) 自宅 TEL 〇四八(〇四八)五五三―〇二七八</p>
<p>取締役会長 小山博</p> <p>取締役社長 小山博</p> <p>〒361-0025 埼玉県行田市大字埼玉三三三―五二 TEL 〇四八(〇四八)五五九―四二二(代) FAX 〇四八(〇四八)五五九―二五五〇</p>	<p>小山商事株式会社 代表取締役 小山喜一郎</p> <p>〒361-0025 埼玉県行田市大字埼玉三三三―五二 TEL 〇四八(〇四八)五五九―四二二(代) FAX 〇四八(〇四八)五五九―二五五〇</p>	<p>三共印刷株式会社 代表取締役 大谷純一</p> <p>埼玉県行田市富士見町二―一―一三〇 TEL 〇四八―五五六―六二〇一</p>	<p>株式会社 田島エンジニア 東京海上日動火災保険株式会社(代理店) 東京海上日動あんしん生命保険株式会社 代表取締役 田島博夫</p> <p>〒361-0073 埼玉県行田市行田五―一―〇 スリーハートビル2F TEL 〇四八(〇四八)五六四―三二二二 FAX 〇四八(〇四八)五六四―三二二二 E-mail: milica-tokent@tajimagency.co.jp URL: http://www.tajimagency.co.jp</p>
	<p>弁護士法人 蔭山法律事務所 代表社員 弁護士 蔭山好信</p> <p>〒361-0073 埼玉県行田市行田一―二番一―二号 TEL 〇四八―五五四―〇〇〇三 FAX 〇四八―五六四―六六〇〇</p> <p>〒360-0041 埼玉県熊谷市宮町二丁目一―八番地 末広不動産宮町ビル二階・三階 TEL 〇四八―五九九―一三〇〇 FAX 〇四八―五九九―一三三〇 E-mail: kageyama@smile.ocn.ne.jp</p>		

行田市の現勢

平成二十七年十二月一日

1 市役所所在地

〒三六一―八六〇―一
埼玉県行田市本丸二番五号

TEL〇四八―五五六―一一一

FAX〇四八―五五六―一七六六

2 市制施行

昭和二十四年五月三日

3 面積

六、七三七km²

4 人口

八三、六四四人

5 世帯数

三四、〇二四世帯

6 財政

二五八、八億円
(当初予算)

7 市の機構

市長 工藤 正司

副市長 川島 将史

8 教育委員会

教育長 森 郁子

委員 岸 田昌久

9 議会

議員定数 二十四名 (無所属
十七、公明三、日本共産党二)

議長 平 杜 輝 男

副議長 石井 直彦

10 学校

専門学校 一校

高等学校 一校

中学校 八校

小学校 十六校

11 都市宣言

環境衛生都市宣言

人権尊重都市宣言

平和都市宣言

青色申告の都市宣言

交通安全都市宣言

暴走族追放都市宣言

非核平和都市宣言

12 まちづくりの目標

水と緑 個性あふれる文化都市

13 産業経済

製造品出荷額 二、三四八億円
(平成二十五年)

商品販売額 二、一七七億円
(平成十九年)

農業粗生産額 四十八億円
(平成十八年)

商店数 九二九店舗
(平成十九年)

工業事業所数 二一四事業所
(四人以上・平成二十五年)

さきたま史跡の博物館

教育文化センター

郷土博物館 忍城御三階櫓

産業文化会館・はにわの館

総合体育館・市民プール

総合公園野球場

公民館(十七館)・図書館

古代蓮会館・総合福祉会館

商工センター

風土記の丘さきたま古墳公園

忍城址公園

古代蓮の里公園

行田市郷土博物館・利根大堰

水城公園・東照宮

15 観光地

編集後記

今年も広報誌の発行時期となりました。毎年何らかの出来事があるものですが今年も創立一一〇周年の記念式典という大きな事業が開催されました。一〇〇周年を祝ってからあつという間の十年でした。その間各委員会の事業は大きな成果を上げ実施されてきました。特に素読教室は昨年の藩校サミットの式典の席上で立派に挙行され日本全国に多くの感動を与え、その後も引き続き継続して活動しております。担当なさった方々のご苦労に対し感謝の念に堪えません。これからも多くの児童が素読教室の卒業生となって行田の文化・教育のレベル向上に大きく寄与して行くと思えます。

さて一一〇周年記念事業の講演会でご講演頂いた上杉邦憲さまは日本の宇宙科学の中心であるJAXAの名誉教授であり上杉宗家第三十二代当主であられます。ご講演内容も大変感銘を受けた内容でありましたし、そのお姿から発せられるオーラも素晴らしいものがありました。忍郷友会の会員であったことに大変感謝せねばと感じたのは私だけではなかったと思います。これからも多くの方々との出会いを大切にして行かねばと思えました。

黒潮 陽夫





発行者 公益財団法人 忍郷友会 会長 松平忠昌
事務局 埼玉県行田市行田五ー一〇
(十万石スリーハートビル3F)

TEL. 〇四八ー五五六ー九〇〇〇

FAX. 〇四八ー五五六ー九〇〇七

URL/www.oshi-goyukai.or.jp

e-mail/gyouda@oshi-goyukai.or.jp

印刷 三共印刷株式会社

〒三六一ー〇〇二一

埼玉県行田市富士見町二ー一ー三〇

TEL. 〇四八ー五五六ー六二〇一

FAX. 〇四八ー五五六ー六二〇四

